

会議の概要

1. 会議の名称

第5回国際野生動物管理学会

The 5th International Wildlife Management Congress (IWMC2015)

2. 主催・共催・後援・協力機関の名称

主催：日本哺乳類学会 (MSJ) 米国野生動物学会 (TWS)

共催：「野生生物と社会」学会 / 日本野生動物医学会 / 日本霊長類学会 / 日本鳥学会 / 応用動物行動学会

後援 (予定)：環境省 / 農林水産省 / 北海道 / 札幌市 / 日本生態学会 / 個体群生態学会 /

日本景観生態学会 / ヒトと動物の関係学会ほか

協力：日本政府観光局 (JNTO)

3. 開催期間

2015年7月26日 (日) ~ 7月30日 (木) <5日間>

4. 開催場所

札幌コンベンションセンター

〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条1丁目

5. 開催の趣旨と目的

国際野生動物管理学会は、米国野生動物学会 (The Wildlife Society: TWS) が1993年にスタートし不定期に開催してきた会議で、今回5回目を迎え、アジアで初めて開催される野生動物管理の大規模な国際会議となります。

野生動物管理学は、野生動物を資源として適正な水準に保つ科学と技術であり、生態学的な概念と原理を用いる応用科学です。しかし、近年では資源としての課題ばかりでなく、希少種保全、農林業被害、交通事故、外来種問題など人間の社会活動と深く関連した課題が増加していることから、社会科学的な側面からも野生動物管理学を強化する必要性が認識されています。

今回の国際野生動物管理学会では、「国際的に多様な文化と社会に一致した野生動物管理のモデル構築」をメインテーマに、野生動物の個体群動態と分布、生息地利用、被害管理、外来種対策、希少種保全、管理システムや野生動物管理の専門家育成などを主要課題として、研究発表と討論が行われます。



日本での会議の開催は、我が国の研究成果を世界に発信し、世界の第一線で活躍する研究者と最新情報に接するよい機会であり、将来を担う若い世代がさらに飛躍する重要なステップになると期待されます。またアジア諸国の多くの研究者が参加することを通じて、アジア地域における野生動物管理システムの構築と人材養成ならびに野生動物管理学の振興と発展にも大きく寄与するものと期待されます。

協賛要項

1. 総合協賛

①一口 1,000,000円以上

- ・貴社主催によるシンポジウム (演者5名以上) の開催
- ・企業ブース出展^{*1}
- ・学会会議への関係者参加枠10名分 (ただし複数の企業体に所属すること)
- ・大会プログラムへの広告掲載^{*2} (中綴じモノクロ A4 1頁)
- ・企業ロゴのWebリンク

②一口 500,000円

- ・貴社主催によるシンポジウム (演者4名まで) の開催
- ・企業ブース出展^{*1}
- ・学会会議への関係者参加枠5名分 (ただし複数の企業体に所属すること)
- ・大会プログラムへの広告掲載^{*2} (中綴じモノクロ A4 1頁)

◇シンポジウムは【開催趣旨の説明・演者4名以上からの講演・総合討論 (合計150分)】により構成されることを条件とします。

◇シンポジウム企画をお考えの企業ご担当者様は、事務局までお問い合わせください。

企画お申し込み期日：2014年12月26日 (金)

2. 広告・出展協賛

○一口 100,000円

- ・大会プログラムへの広告掲載^{*2} (中綴じモノクロ A4 1頁)
- ・企業ブース出展^{*1}

3. 広告協賛

○大会プログラムへの広告掲載^{*2}

掲載をご希望される広告サイズをお選びください。

①中綴じモノクロ A4 1/2頁 30,000円

②中綴じモノクロ A4 1頁 50,000円

協賛お申し込み期日：2015年4月20日 (月)

※1：長机 (90 × 180cm)、椅子2脚、電源2個口 (100w) をご用意致します。その他の詳しいオプションにつきましては、2015年5月以降にご連絡させていただきます。

※2：掲載する広告原稿は、電子メール (iwmc@rakuno.ac.jp) または FAX (011-388-4710) でお送りください。

◇協賛いただいた全ての企業・団体のお名前を大会プログラム及び本学会のホームページに掲載させていただきます。

◇政府行政機関または非営利活動団体の方につきましては、別途事務局までご相談ください。



第5回国際野生動物管理学術会議運営委員会

運営委員会

会長	梶 光一	東京農工大学
会長(海外)	Rick Baydack	マニトバ大学、米国野生動物学会
実行委員長	齋藤 隆	北海道大学
事務局長	吉田 剛司	酪農学園大学
庶務理事	佐藤 喜和	酪農学園大学
会計理事	小池 伸介	東京農工大学
監事	間野 勉	北海道立総合研究機構
監事	常田 邦彦	一般財団法人 自然環境研究センター
顧問	林 良博	国立科学博物館館長
顧問	大森司 紀之	北海道大学名誉教授

国内運営委員:

池田 透	北海道大学
伊吾田 宏正	酪農学園大学
伊澤 雅子	琉球大学
石井 信夫	東京女子大学
稲富 佳洋	北海道立総合研究機構環境科学研究センター
上野 真由美	北海道立総合研究機構環境科学研究センター
宇野 裕之	北海道立総合研究機構環境科学研究センター
浦口 宏二	北海道立衛生研究所
押田 龍夫	帯広畜産大学
加藤 秀弘	東京海洋大学
木村 順平	ソウル国立大学
小泉 透	森林総合研究所
鈴木 仁	北海道大学
鈴木 正嗣	岐阜大学
高槻 成紀	麻布大学
立木 靖之	NPO 法人 EnVision 環境保全事務所
本川 雅治	京都大学
山田 文雄	森林総合研究所
早稲田 宏一	NPO 法人 EnVision 環境保全事務所

海外運営委員:

Paul Krausman	モンタナ大学
Ken Williams	米国野生動物学会
Darryl Walter	米国野生動物学会
Ed Thompson	米国野生動物学会

協賛金振込先口座

店名: 北洋銀行 野幌中央支店大麻出張所
預金種目: 普通預金
口座番号: 4287824
加入者名: IWMC2015

= お問い合わせ先 =

第5回国際野生動物管理学術会議
運営委員会事務局 事務局長
吉田 剛司 (酪農学園大学農食環境学群教授)
〒069-8501 北海道江別市文京台緑町 582
電話/FAX: 011-388-4710
電子メール: iwmc@rakuno.ac.jp
ホームページ: <http://www.iwmc2015.org>

第5回国際野生動物管理学術会議

The Vth International Wildlife Management Congress
(IWMC2015)

広告・協賛のお願い

ご挨拶

日本は四方を海に囲まれ、高い山々をもち、森林に覆われ豊かな自然に恵まれており、哺乳類約100種(クジラ類除く)、鳥類約630種などが生息するなど生物多様性が大変高い国です。また、シカ・イノシシなどの野生動物は地域の自然資源として伝統的に利用されてきた歴史を持っています。しかし、近年、狩猟者の激減、耕作放棄地の増加、里地里山の利用の減少などから、増えすぎた野生動物による農林業被害、自然公園の生態系への悪影響、外来種による生物多様性の攪乱や被害が増加する一方、人間の生活が希少な野生動物の生息環境を脅かしているなど、いくつかの問題点が指摘され、この豊かな日本の野生動物相をどのように維持し、共存していくかが非常に重要な課題となってきました。

特にアジア地域では、絶滅に瀕している野生動物が多い一方、大型獣が増加し、住民との軋轢が生じている地域も少なくありません。野生動物管理に関する既往の枠組みは欧米の狩猟文化を基盤にして発展してきましたが、伝統的知識に基づく野生動物資源利用を背景とするアジア地域には、必ずしも有効ではありません。

このような状況の中、さまざまな分野の研究者がその垣根を越えて、野生動物と人間の共存をどのように維持していくかを考える応用的な学問である野生動物管理に関する国際学会、国際野生動物管理学術会議がアジアで初めて開催される運びとなったことは、日本の豊かな野生動物相ならびに共存への取り組みを紹介することができるとともに、アジアの研究レベルの向上に対し大変意義あることだと考えております。

つきましては、この趣旨にご賛同いただき、多くの方々から広く広告・協賛を募りたく、この資料を添えてお願い申し上げます。

2014年7月7日
日本哺乳類学会理事長
第5回国際野生動物管理学術会議
運営委員会会長
梶 光一

